

児童発達支援・放課後等デイサービスガイドラインにおける 特性に合った学びを前提とした ひなた観音の5領域への支援

障がいのある子どもの発達の側面から、心身の健康や生活に関する領域「健康・生活」、運動や感覚に関する領域「運動・感覚」、認知と行動に関する領域「認知・行動」、言語・コミュニケーションの獲得に関する領域「言語・コミュニケーション」、人との関わりに関する領域「人間関係・社会性」の5領域にまとめられます。

これらの領域の支援内容は、お互いに関連して成り立っており、重なる部分もあるといわれています。

また、この支援の大きな目標は、障害のある子どもが、将来、日常生活や社会生活を円滑に営めるようにするものといわれています。



特性に合った学びを前提とした ひなたの5領域

健康・生活

健やかな成長の見守りと
身辺自立をサポート

認知・行動

基礎となる概念についてや
その場に合った振る舞い等のサポート

言語 コミュニケーション

あらゆる手段において
相手を意識した双方向のやりとり

運動・感覚

やりたいことができる
身体づくり

人間関係・社会性

1対1から集団へ
人と楽しく遊ぶための基礎作り